

3Dデジタルマップの整備状況について

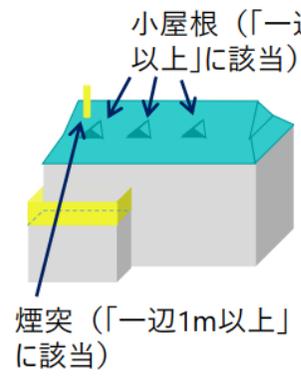
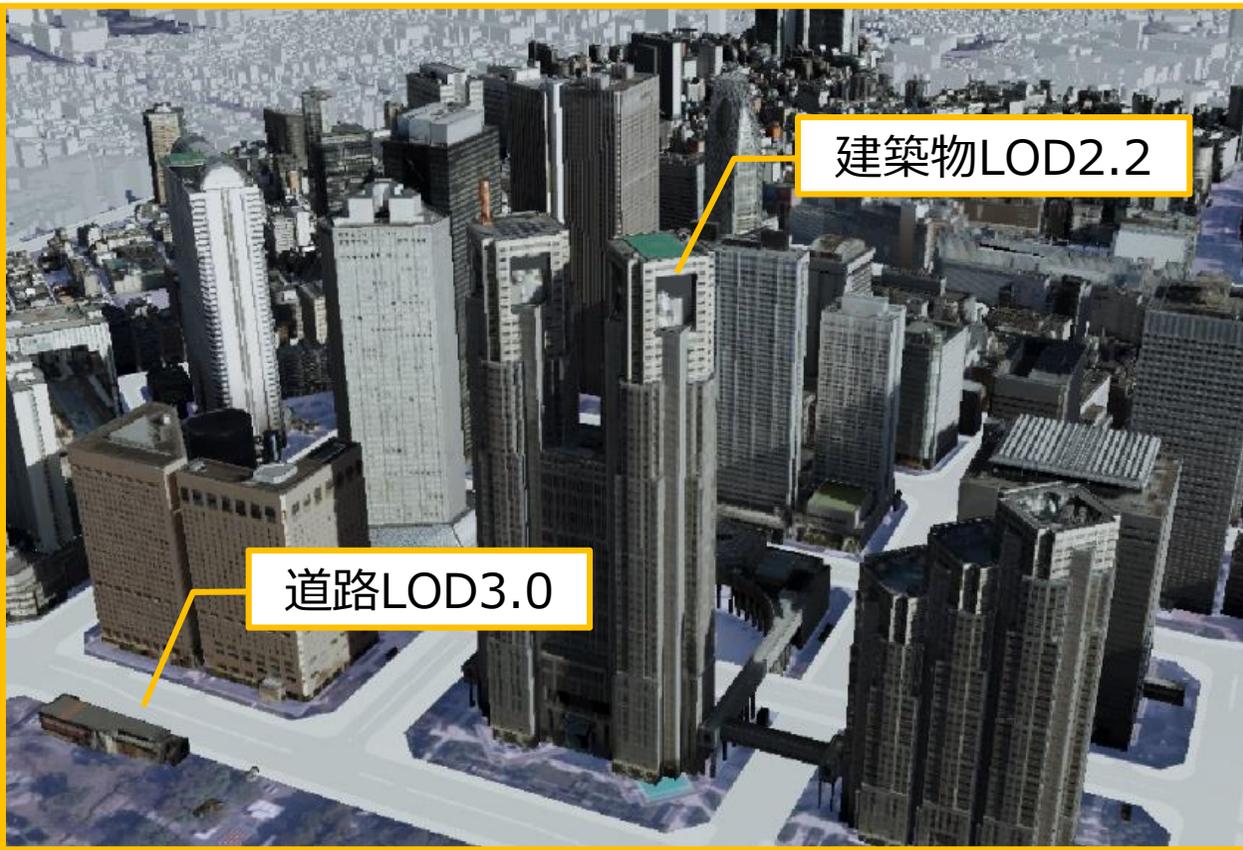
3D都市モデル整備状況

- 区部、多摩部の整備は完了し、3月29日にオープンデータ化を行う予定。

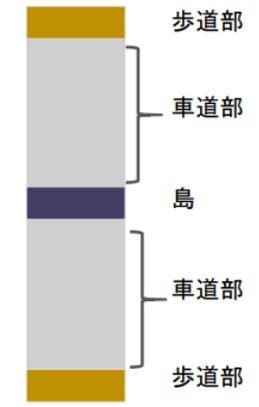


3D都市モデル整備状況：整備モデル（建築物・道路）

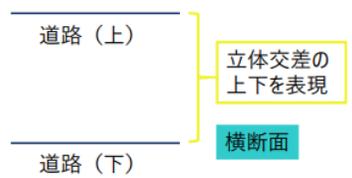
今回改訂された製品仕様書の基準に合わせ、各地物の作成詳細度を設定。



建築物LOD2.2



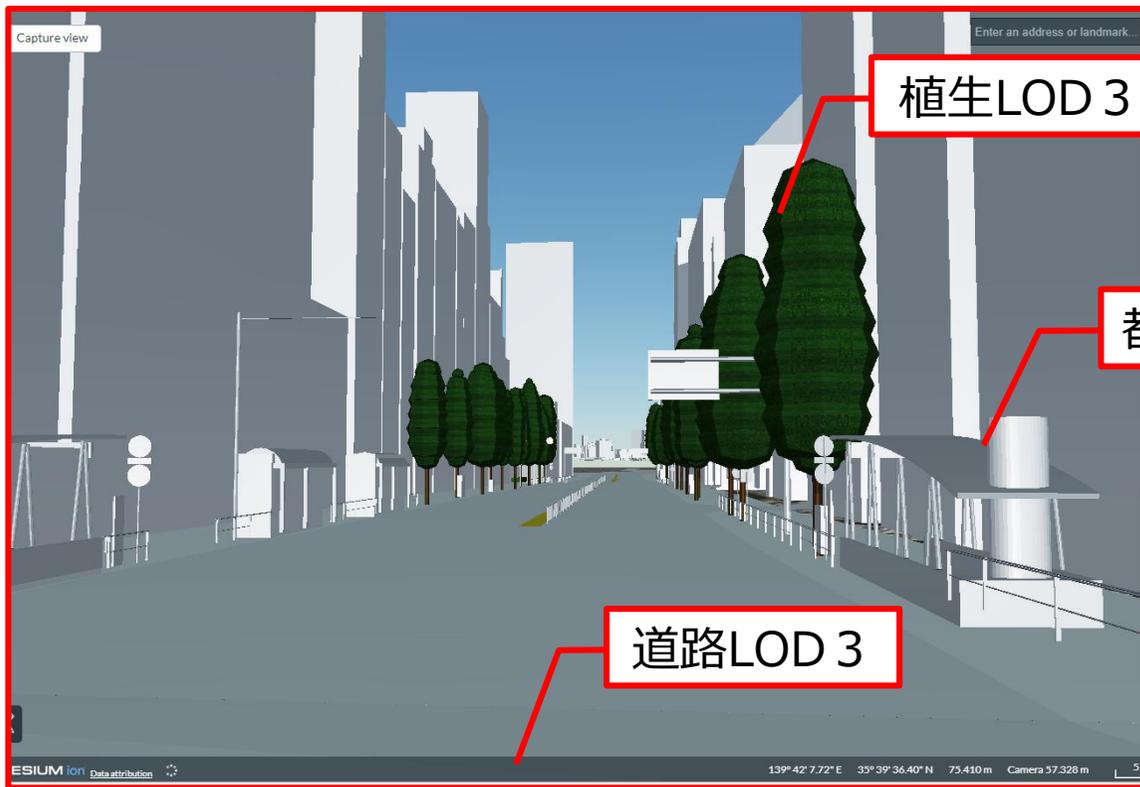
道路LOD3.0



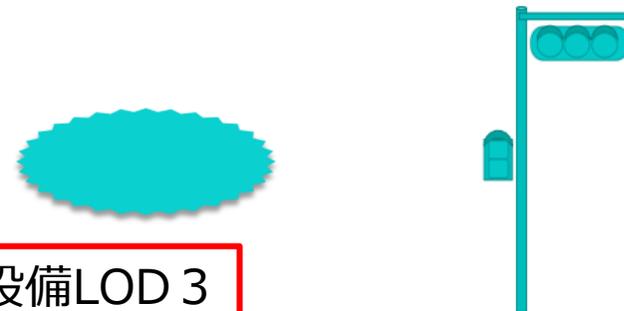
地物	改訂前	改訂後	備考
建築物	LOD2	LOD2.2	短辺1m以上の屋外付属物を表現
道路	LOD2	LOD3.0	標高値を含めたモデル

3D都市モデル整備状況：整備モデル（建築物・道路+植生・都市設備）

・都市設備・植生のモデルについては、都市再生緊急整備地域や都市開発諸制度拠点地区の一部において、整備対象路線を抽出した。

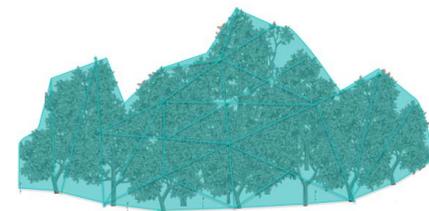
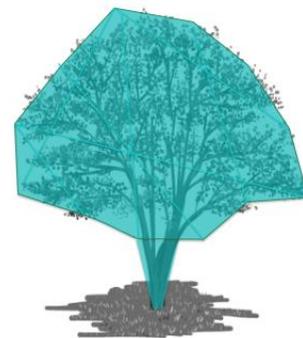


都市設備LOD3.0



都市設備LOD 3

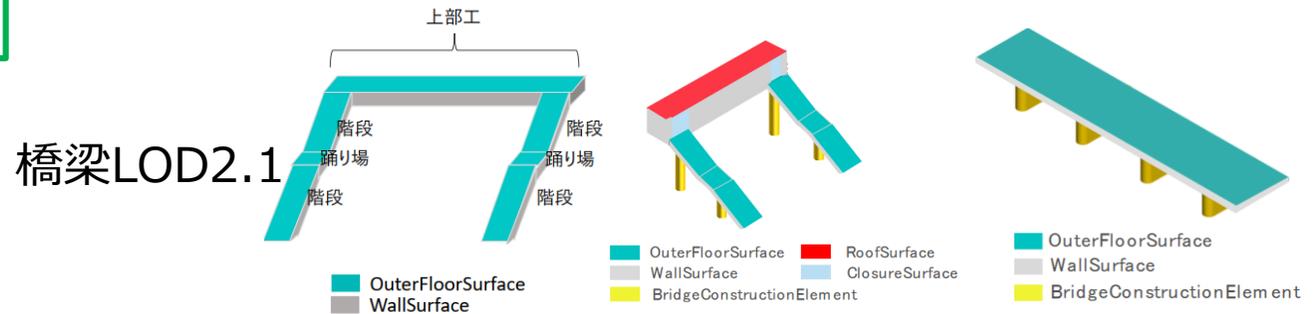
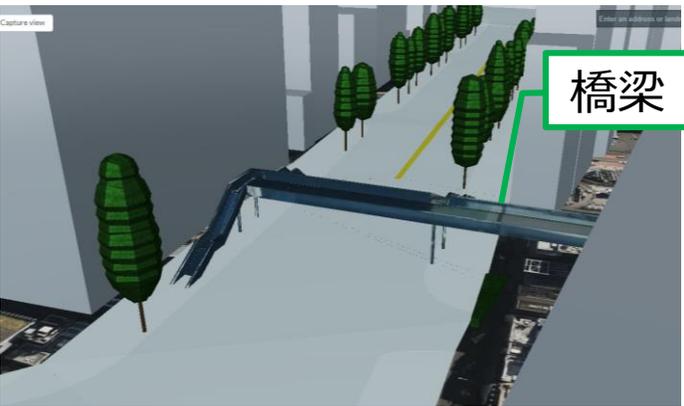
植生LOD3



地物	改訂前	改訂後	備考
都市設備	LOD2	LOD3.0	構成する主要部分をモデル化するが接続部は作成しない
植生	LOD2	LOD3	特徴点による立体を表現
道路	LOD2	LOD3.0	標高値を含めたモデル

3D都市モデル整備状況：整備モデル（橋梁）

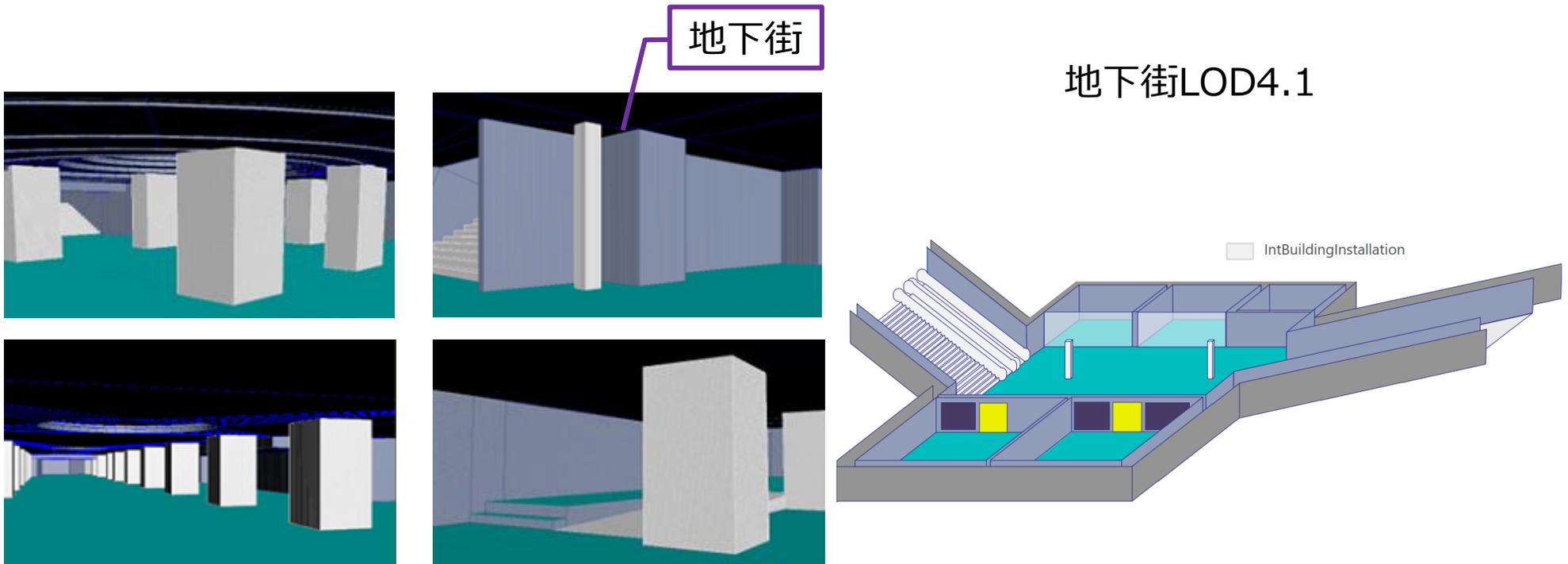
- ・都市再生緊急整備地域内は首都高速道路、鉄道協、歩道橋を整備。
- ・都市開発諸制度拠点地区は首都高速道路を整備。



地物	改訂前	改訂後	備考
橋梁	LOD2	LOD2.1	桁、厚み、屋根を表現

3D都市モデル整備状況：整備モデル（地下街）

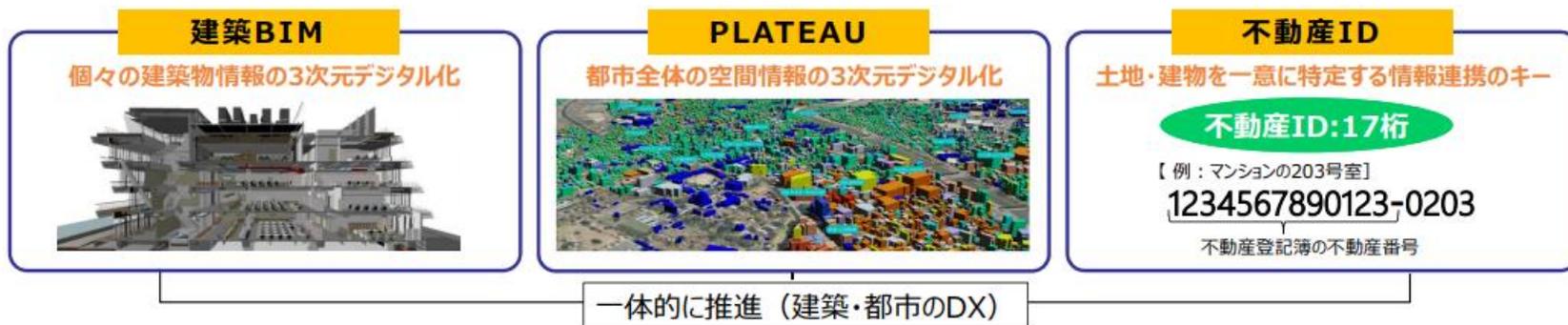
- 地下街については新宿、渋谷、池袋、東京（八重洲）エリアで整備した。



地物	改訂前	改訂後	備考
地下街	LOD2	LOD4.1	付属物として階段・スロープ・柱等を表現するため。

前回WG以降の製品仕様書の変更（不動産IDの付与）

- 国交省の3D都市モデル標準製品仕様書の改訂（3.3版）により、新たに不動産IDが建築物の属性に追加。
- これに伴い、東京都の製品仕様書についても同様に改訂し、不動産IDを付与。



建築物の3次元データのBIMの普及及び都市全体の空間情報の3次元データであるPLATEAUの整備を一体的に進める「建築・都市のDX」の情報連携のキーとして不動産IDが活用されることが期待されている。

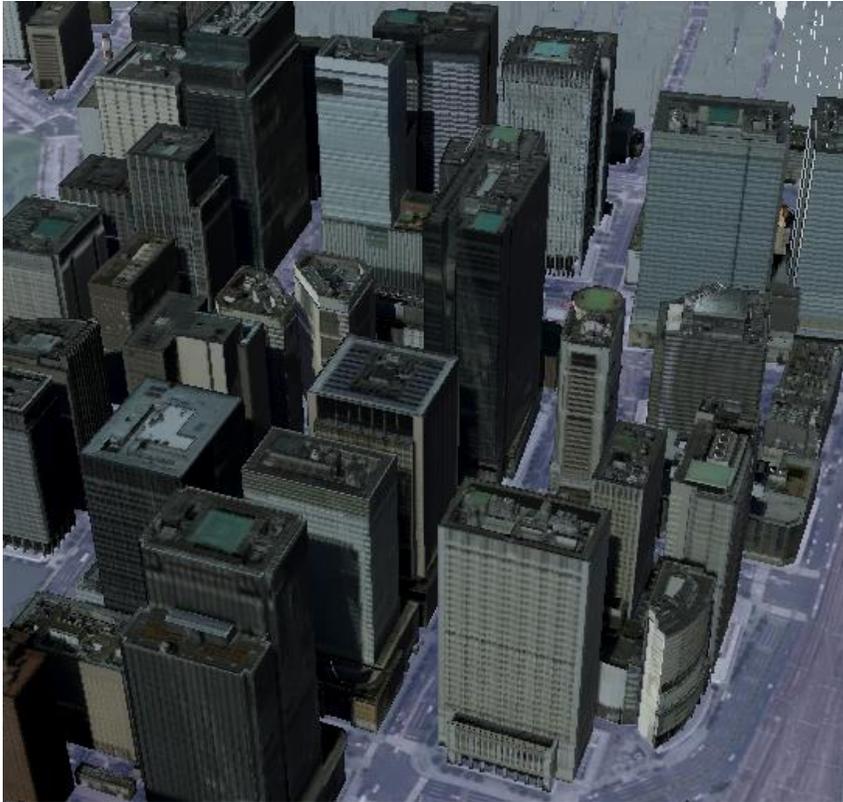
※不動産ID：不動産を一意に特定することができる17桁のID

R7年度～：国土交通省では、不動産IDを介したPLATEAU・BIMと官民のデータ連携により、UCの社会実装に着手予定

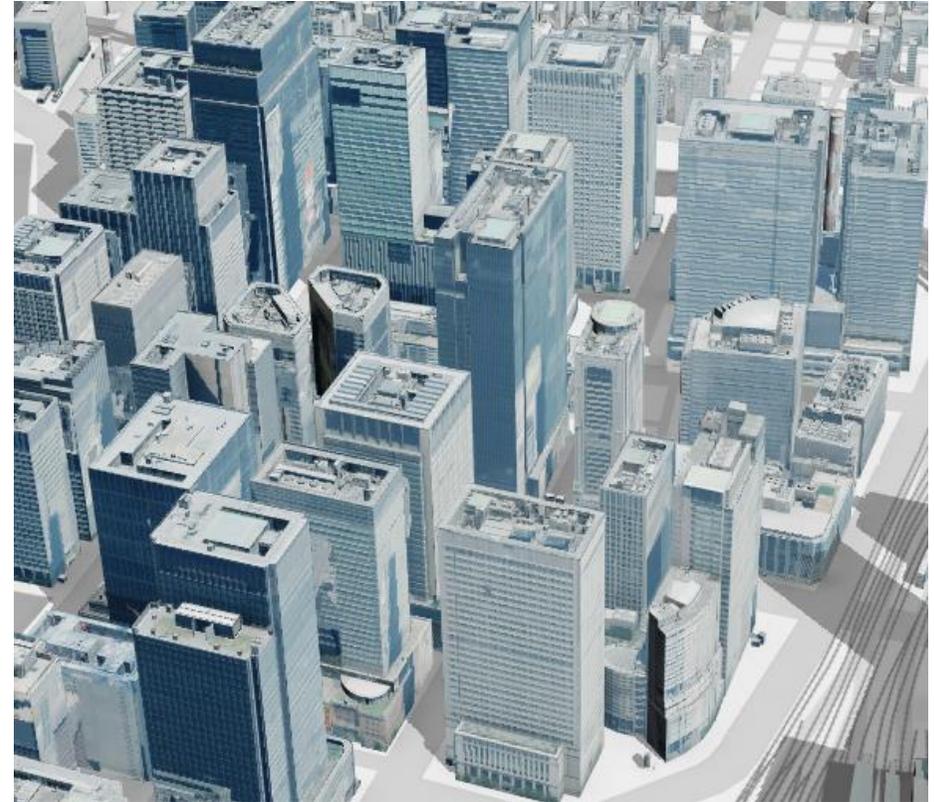
オープンデータ化及びビューアの公開

- 東京都オープンデータカタログサイト及びG空間情報センターにてオープンデータ化予定。
- 作成したモデルは東京都デジタルツイン3Dビューア（β版）及びPLATEAU VIEW3.0で公開予定。

東京都デジタルツイン3Dビューア（β版）



PLATEAU VIEW3.0



東京都デジタルツインビューア（β版） <https://3dview.tokyo-digitaltwin.metro.tokyo.lg.jp/>
PLATEAU VIEW3.0 <https://reearth.plateau.reearth.io>